



振り返りの会開催

日時：平成24年3月9日（金）
場所：東疇小学校 多目的室
参加人数：24名



1、開会（校長先生）

うねっこ応援団は、地域協働学校運営協議会の一環であり、周りのどの学校よりも進んでいる組織となりました。地域の皆さん、保護者の皆さんのお力添えに尽きます。ありがとうございました。

2、教頭先生より現在の登録者数、活動状況、（裏面参照）の説明、報告

子どもたちからのうれしい『ありがとうビデオレター』を見せていただきました。

3、コーディネーターより

（今年度の活動を振り返って）

- 応援依頼に家まで出向いた時、『うねっこ応援団の者です』と挨拶をするととてもにこやかに対応していただきうれしかった。
- 今年度から導入した活動カードは記入は面倒かもしれませんが、次年度につながる物なのでご協力をお願いいたします。
- 応援団依頼の内容、主旨などが詳しいと募集がとてもスムーズだった。
- 他の学校のボランティア組織は、地域の方が大半を占めていて保護者と連携が困難との事ですがうねっこ応援団は地域の方、保護者との連携もバッチリで、楽しく活動できました。岡山一の応援団だと思います。

4、自己紹介

5、3グループ分かれて協議後、発表

- 専門知識がなくても参加できるボランティアに関しては、いろいろな方に声をかけてほしい。
- 参加できます！と返事したものの、その後連絡がなかったので、フォローがあれば助かる。
- 急な声掛けではなく前もっての募集があればうれしい。例えば学期初めに大まかな予定表でももらえると心構えができる。
- 一番最初の応援団募集の時、参加可能の項目に○をするのに専門的な知識が必要か？どの程度のレベルが必要なのか？と、少し考えた。
- 前もっての活動プログラムがあれば、受け答えなども用意できた。感想などをいう場があれば事前に知らせてほしい。
- 子どもたちの目がキラキラしててすごくよかった。
- いろいろな角度からの目があるのはよかったのではないかな？
- 1年間やってみて少しつかめてきた。教え方も上手になったかな？
- 来年度はもっといろいろなボランティアに参加してみたい。
- 活動カードを書くことによって、自分の意見、考えを出すことができて良かった。
- 読書ボランティアは読書好きの集団なので自分たちも楽しみにしている。
- 安全パトロールの方によく挨拶ができていてうれしい。



6、閉会（坂本運営協議会委員）

東日本大震災以後、よく話題になる言葉に『絆』がある。うねっこ応援団の活動は、地域の絆を高める力になっていて、とてもありがたく思っています。

無理をするのではなく、できることをひとつずつ積み上げていく活動をしていきましょう。